

音声工房だより

NTTアドバンステクノロジー株式会社 音声工房

〒244-0805 横浜市戸塚区川上町90-6 東戸塚ウェストビル

TEL.: 045-826-6026 FAX.: 045-826-6092

E-mail: sp4win@kana.ntt-at.co.jp

URL: http://www.sp4win.com

Copyright (C) 2005 NTT-AT

【本記事に記載された社名・商品名などは、一般に各社の商標または登録商標です】

厳しかった暑さもやっと峠を越えたようです。しかし、またもや台風の襲来も予想されているようですので、ご注意のほどお願い致します。今回の音声工房だよりでは、

- (1) 日本音声学会全国大会の日程、
- (2) 音声工房 Custom と音声工房 Pro との機能の違いについて、
- (3) **Windows Tips**: エクスプローラから音声工房にファイルを「送る (SendTo)」方法、という内容でお届けします。

日本音声学会第19回全国大会に出展

9月24日(土)-25日(日) 県立広島大学にて

日本音声学会の本年度の全国大会は、以下の要領で開催されます (<http://www.psj.gr.jp/convention.html>)。本年も、弊社の音声ソフトウェア、および声道模型教材を展示します。

なお、本全国大会では、音声の可視化に関してシンポジウム:「見て理解する音声学」が開催されます。

日時: 9月24日 12:30 - 17:35

9月25日 9:00 - 17:10

会場: [県立広島大学](#) 広島キャンパス

〒734-8558 広島県広島市南区宇品東 1-7-1

学会参加の方、お近くへお出での方は、ぜひお立ち寄り下さい。

音声工房Proと音声工房Customの機能の違いについて

Pro Custom へのアップグレードのお勧め

はじめに

音声工房Pro と音声工房Custom の機能差は、それぞれのバージョンアップを経て、不明確になっているかもしれません。ここで、改めて機能差を整理・説明します。

音声工房Custom v2.2 が、音声工房Pro v2.2 の機能以外に保有して以下の機能を、順に説明します。

- 連続再生
- ユーザー処理
- ファイル保存の対象拡大
- 話速変換

連続再生

連続再生というのは、複数のサウンドファイルを選択しておき、一度の指示でそれらを次々に再生するものです。受聴試験、編集音声の確認、などの用途に用いられます。連続再生のために、以下の機能を用意しています。

- 連続再生を指示する「再生リスト」を作成・保存・読出することができる。
- 指定のディレクトリに含まれるファイルを再生リス

トに追加する。

ピツという合図音を、各ファイル・各組の先頭に付加する。

各ファイルの再生順序をランダム化できる。

「一対比較試験」用に、2ファイルの選択・各組合せの作成・ランダム化が可能です。



ユーザ処理

ユーザ処理というのは、ユーザが作成した処理を登録し、音声工房が備えた機能と同様の操作で、音声データに処理を加えるというものです。処理前後の波形を比較することもできます。ユーザ処理機能の仕様は、次の通りです。

ユーザ処理として、Windows下、あるいはDOSプロンプト下で動作するものを作成しておく。
ユーザ処理.txt という名前のユーザ処理定義ファイルを編集・追加して、登録・削除を行う。
登録可能なユーザ処理の数は、最大20個。
処理プログラムの引数は、最大6個。(それ以上必要とする場合は、ファイル渡しにすればよい)
カレントディレクトリを取り込むことができる。
処理結果を表示させることができる。
ユーザ処理の見本として、4つの処理(帯域通過フィルタ、FIRフィルタ、標準化周波数変換、雑音重畳)が登録され、実行可能な状態になっている。

ファイル保存の対象

音声データを分析した結果の数値データをファイルとして保存する機能です。音声工房 Pro では、

ピッチ分析、
ホルマント分析、

の結果を対象にしていますが、音声工房 Custom では
パワー、

スペクトル、
線形予測係数、
の各分析結果も対象として追加しています。

話速変換

音声工房だより第88号で紹介した、音声データの発声速度を変更する機能です。もちろん、声の高さは変更ありません。この機能の仕様は次の通りです。

表示データに対し、指定箇所の話速を変更できます。話速の変更倍率は、0.2 ~ 5.0 倍です。話速変換の方法は、一様伸縮です。指定可能な最短の時間長は、40 ms です。変換対象は、モノラルの16ビットデータです。話速変換機能を利用して、声質変換することもできます。(音声工房だより第89号参照)

グレードアップの費用

音声工房 Pro (v2.1、v2.2) から、最新の音声工房 Custom v2.2 にグレードアップする費用は、標準化価格の差額である ¥40,000 です。なお、大学・会社・病院等からの直接申込みでは、2割引の ¥32,000 (税別) です。

なお、ここに記した音声工房 Custom の各機能は、音声工房 Custom+Macro、ゆらぎ解析ソフトウェアにも配備されていますので、それらにグレードアップして利用することもできます。費用は上と同様になります。

Windows Tips エクスプローラから音声工房ソフトにファイルを送る 「送る (SendTo)」機能でこんなことができます

はじめに

Windows のエクスプローラでファイルを指定して右クリックすると、コンテキストメニューが開きます。その中に、「送る」という項目がありますが、皆様はこの機能を使っておられますか？

ここに、音声工房のソフトウェアを登録(複数も可)しておくと、ちょっと便利な使い方ができます。なお、「送る」機能の使い方は、Windows Help で、キーワードとして「送る」を記入して「検索」すれば出てきます。

【送る】先に音声工房ソフトを追加する

送る先を追加するには、以下の順に操作します。

エクスプローラを開く。

Windows がインストールされているドライブ(通常は C:) の [Documents and Setting] フォルダを指示する。

その下の、自分が使用しているフォルダをダブルクリックする。

その中の [SendTo] フォルダをダブルクリックする。

【ショートカットの作成】ウィンドウが開くので、参照ボタンを利用して、音声工房ソフトの実行プログラムをテキストボックスに表示させる。例えば、音声工房 Pro のソフトは、通常 c:\Program files\音声工房\SP4WIN Pro\SP4WinP.exe として格納されている。【次へ】のボタンを押すと【名前指定】ウィンドウが開くので、ショートカットの名前(例えば、音声工房 Pro)をテキストボックスに記入する。

【送る】機能の使い方

エクスプローラから音声データの一覧を表示させます。

開きたいファイルを右クリックで選択し、コンテキストメニューで [送る | 音声工房 Pro] を指示します。そうすると、指定のファイルを開いた状態で音声工房 Pro が立ち上がります。この [音声工房 Pro] は、上の で記入したショートカット名です。

なお、【送る】先として、音声工房シリーズの複数のソフトを登録することもでき、例えば、時により音声工房 Pro に送ったり、音声工房 LongData に送ったりできるわけです。

また、【SendTo】フォルダ中の不要なショートカットを削除すれば、コンテキストメニューに現れなくなります。

